



議会だより



10月に
市ガス事業を民間譲渡へ

市ガスの廃止関係条例を可決

主 な 内 容

3月定例会

18年度当初予算決まる

総額 549億8,961万円

一般会計	273億9,800万円(前年度比△13.3%)
特別会計	247億6,131万円(前年度比△10.0%)
企業会計	28億3,030万円(前年度比△ 3.7%)

予算審議・条例審議	2～3頁
代表質問	
6会派7人が登壇	4～6頁
一般質問	
3月定例会では19人が登壇	7～10頁
請願・人事など	11頁
委員会審査など	12頁

平成18年 3月 定例会

3月定例会の概要

平成18年第2回越前市議会定例会は、3月1日から24日までの24日間にわたって開かれました。

この定例会では、市長から当初予算案16件、補正予算案9件、平成17年度各会計決算認定案22件（旧武生市・旧今立町分）、条例案18件、一般議案10件、人事案4件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・認定しました。

また、市長の施政方針に対する代表質問には6人会派7人が立ち、一般質問には19人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

予算審議

※（ ）内は質疑をした議員名

■道路除雪対策事業

4564万円

(関正議員)

問 今年の大雪での大きな被害による暗いイメージを取り除くためにどうするのか。また、狭い道路や空き家の多い地区での除雪で苦情が多かったが、その対策は。

答 北陸自動車道や国道が渋滞したことに対しては、国や県選出の国会議員及び関係団体に対して除雪体制確保に強い要望をしてきた。狭い道路の除雪課題をどう克服するか検討させていただきたい。

■児童健全育成事業費

学童保育費 180万円

(北野議員)

問 児童館の学童受け入れは3年生までだが、4年生以降の受け入れニーズもあると思うが把握しているか。

答 施設の規模、人員体制を配慮しながら、保護者と協議して対応している。

■道路橋梁総務費

1億6648万円

(長谷川・金子議員)

問 県道の帆山王子保停車場線、中小屋武生線の開通はいつごろの予定か。なかなか進まない理由は何か。

答 県土木事務所で確認したところ、地権者との話が付かず遅れている。一生懸命やっているの、理解してほしい。

■市民バス運行事業

4702万円

(安立・前田議員)

問 市民バス、福祉バスとも市民のためのバスだが、別々の予算となっている理由は。

答 福祉路線バス利用運行事業（安立・前田議員）

答 市民バスは誰もが利用でき、福祉バスは65歳以上の方を対象としているため、予算だけを分けている。

問 合併によって、今立のコミュニティバスが無料から100円になったことはサーピスの低下ではないか。

答 合併を機会に、今立から武生へ向かう路線が100円

条例審議

※（ ）内は質疑をした議員名

■市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

(玉村・中西議員)

問 在職中の貢献度に応じた調整額の支給や退職手当の支給構造の見直しは、職員にどのように影響するのか。成績主義にはなじまない仕事もあるのではないか。

答 公務員の給与改革を背景としており、「国や県の改正に伴うもので、これまでの年功序列型から貢献度重視型となり、新しい評価制度を考えている。

■市幼稚園入園料保育料徴収条例の一部改正について

(前田議員)

問 合併に基づく料金の統一ということだが、入園料や保育料の実質的な値上げではないか。

答 合併協議の中で、武生市の例によるとか、統一することで協議されてきたが、国の

財政計画に基づき改定した。今まで今立の人は、入園料がかかっていたので負担増となるが、保育料については安くなっている。

■市国民健康保険条例の制定について

(玉川・玉村・中西議員)

問 合併協議会では統一すると決められていたはずだが、かなりの値上げである。なぜ今値上げするのか。一般会計から繰り入れてもいいから、時期は遅らせないか。

答 国保財政はかなり厳しい運営状況にある。審議会からも健全運営の答申が出される中、長期的な展望に立ち、引き上げとなった。一般会計の繰り入れは、他の保険加入者との均衡も考慮すべきで、基金についても今年は2億8000万円取り崩している。

■市介護保険条例の制定について

(玉村議員)

問 介護保険料についても、今回の改正で引き上げられて

で乗れるようになって喜ばれているという声も聞いており、回数も4月から2回に増やしている。

■新図書館建設事業

6億5940万円

(中西議員)

8月1日に新図書館はオープンするが、現在の図書館などの活用をどうするのか。

市全体での施設の有効活用を、行政経営刷新チームの中で考えているところで、財政構造改革プログラムで方向性を示したい。

■保健衛生総務費地域医療活動支援事業のうち

庁用備品費 94万円

(中西・関利議員)

緊急医療器具AED(心臓に対する自動体外式除細動器)の購入による配置計画は。

今回は、3台を購入して湯楽里、福祉健康センター、社会福祉センターに配備する。別に寄付される1台は福祉健康センターでの貸出しを考えている。今後、計画的に整備を進めていく。

■債務負担行為債務保証限度額

17億700万円

(山崎議員)

国は新年度より土地開発公社等への債務負担について一定額を入れた実質公債比率を導入するが、今年度の予算編成に当たって実質公債比率を考慮したのか。

できるだけ公債比率を下げていきたいが、開発公社については、先行取得事業をするにあたり一定の資金確保をしなければいけないため、長期的な市の政策の中で債務負担を組んでいく。

■教育費中学校費

2億9771万円

(伊藤康議員)

今立の南越中学校で毎年生徒の海外派遣を行ってきた。今回の予算に計上されていないが、取りやめたのか。

越前市全体の均衡を考えて、既存の予算の中で検討したい。

■土木費除雪対策費

自動車購入費553万円

(玉川議員)

小型除雪機の購入は、どの

ようなものを購入するか。歩道除雪用のロータリーを予定している。

■高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費6960万円

(玉村議員)

この事業に国の地域住宅交付金を見込んでいるが、この制度を利用して、既存の耐用年数を過ぎた市営住宅や、木造の古い住宅の建て替えをするつもりがあるのか。

この事業については、地域住宅計画の策定が義務付けられていて、高齢者向け優良賃貸住宅供給事業や既存の住宅改修事業も対象になるので、今後、十分活用して対応していきたい。

■日野川地区工業用水道建設負担金事業 8500万円

(中西議員)

県と市が負担する形で、今後30年にわたって償還していくとのことだが、市が負担する額はいくらか。

平成17年度から約38年間で23億6000万円を見込んでいる。

いるが、低所得者層への配慮はされているのか。

今回保険料を6段階から7段階にし、低所得の方の負担を少なくした。

■市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について

(川崎・玉村議員)

市における国民保護計画策定の具体的なスケジュールは。また、有事のときの、対策本部職員の役割は。

4月に協議会の委員を委嘱、9月に協議会を開催して年度内には計画書を作成したい。職員の役割は計画書の中で明示する予定である。

■市営住宅条例の一部改正について

(佐々木議員)

市営住宅の入居が公募によらないでできる場合とはどのようなときか。入居の判断基準は。

国の法改正により、入居者の世帯構成の状況変化や障害者の利便性を考慮して規制

緩和がされた。入居にあたっての確かな資格判断が行えるように早急に判断基準を作成する。

■市ガス事業、水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正等について

(中西・前田修議員)

ガス事業の民営化で、今後5年間料金の値上げはしないことを確認しているか。今後、市から役員の派遣や資本参加があるとのことだが、経営が赤字になっても資金援助はしないと理解してよいか。

また、35億円という譲渡価格はこれまでに投入した資本額に見合う価格になっているのか。民間に変わることによって保安面は大丈夫か。

5年間は料金を引き上げないことを確認している。役員の派遣等については、今後協議することになっており、今後の増資や資金援助は一切考えていない。価格は投資額に見合うものであり、保安面でも監督官庁の監査もあり安全だと考えている。

